

令和8年度 第1回鹿児島市清掃事業審議会 会議概要

【日 時】

令和8年4月22日（水） 14時00分～14時40分

【場 所】

市役所東別館9階 特別中会議室

【出席委員】

井上会長、永徳委員、川崎委員、倉元委員、末永委員、田尻委員、鶴田委員、平委員、三原委員、柳井田委員、山崎委員、吉原委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 環境局長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 諮問事項
ごみ処分手数料の改定について
 - (2) 報告事項
第四次鹿児島市一般廃棄物処理基本計画の改訂について
 - (3) その他
- 5 閉会

【議事概要】

- (1) 諮問事項 ごみ処分手数料の改定について

会 長：ただ今事務局から説明がなされたが、何か質問、意見等はないか。
(質問・意見等なし)

会 長：特に質問・意見等もないようなので、当審議会としての意見をまとめたいと思う。
「諮問事項」に対する当審議会の「答申」としては、要望事項も含めて、この案のとおりということで良いか。

委 員：異議なし

会 長：2月4日に諮問を受け、これまで審議してきたが、本日、当審議会としての答申をまとめることができた。
本日まとめた「答申」については、5月下旬に私の方から下鶴市長にお渡しする予定である。
これをもって、「諮問事項」の審議につきましては終了する。

- (2) 報告事項 第四次鹿児島市一般廃棄物処理基本計画の改訂について

委 員：発電量は、令和6年度より令和8年度の方が下がっているのか。

事務局：令和4年1月から南部清掃工場が建て替えに伴って高効率発電になったほか、北部清掃工場の基幹的設備改良工事に伴い発電量が増えたため、令和

6年度の実績値が目標値よりも増えたところである。

なお、令和6年度については実績値であるが、令和8年度と令和13年度は目標値になっている。

委員：市民1人1日当たり家庭ごみ量について、令和13年度の目標が437gとなっているが、さらに5gか10g減らす目標にして、それに向かって取り組んでもらいたい。

事務局：実際1gを減らすというのは相当な努力が必要である。人口58万人の場合、1人1gなら580kgを1日で減らすという計算になるので、そのためにはもっと分別を徹底するとか、あるいは新たな分別や、それを行うための体制づくりを総合的に考えていかないといけないと考えている。そのため、まずはこの令和13年度の目標に対して、どれだけ近づけるかということ而努力しなければならないと考えている。あわせて、将来的な目標として、新たな分別など、可能なことがないかについては検討していきたい。

会長：この目標はそのままにしたとしても、この目標を上回るようにいろいろ努力し、啓発活動などを通して市民の環境問題やごみ問題に対する意識を高めていき、それを行動に結びつけていく、これが結果に結びついていくのだろうと思う。

委員：不法投棄確認件数について、令和6年度の実績が多い気がするが、具体的に不法投棄というのはどのようなものが多いのか。また、今後目標値に近づけるための対策はあるか。

事務局：不法投棄については、引っ越しの際のごみや、生活用品、リサイクル料金のかかるテレビ等の家電4品目の不法投棄が多い状況である。不法投棄確認件数については、令和6年度で222件になっているが、令和7年度の集計結果は156件であり、前年度の7割に減ったところである。その要因としては、昨年度から不法投棄の多い場所などに監視カメラを設置していることが考えられる。令和8年度においても監視カメラをさらに増やして強化したいと考えており、できるだけ目標値に近づくように努力したい。

(3) その他

委員：ごみステーションについて、道路にはみ出してきている場所もあり、通勤・通学で通るところでも非常に狭いところがあるが、そういうところの指導は行わないのか。

事務局：ごみステーションを設置する場合、必ず清掃事務所等の職員が現地で町内会の方と立ち会いを行っている。大きさについても通行に支障がないかの確認や、交差点に近くないかなど、そのようなことも含めて話をしており、できる限り適正なサイズのものが設置されるようにしているところである。

委員：ごみの分別について、アプリを見られない年齢の方もいるので、冊子のようなものを検討してもらえれば、ある年齢以上の方にはありがたい話かなと思う。デジタル化に慣れていない方もいるということ念頭に置いて検討してもらいたい。

会長：今ここで結論を出さなくても良いが、やはりこのようなことは現場の意見がすごく大切なので、ぜひ検討してもらいたい。